

ほたるびたより

Vol.16



大切なあの子へ、ありがとうの気持ちを込めて

ペット慰霊法要



ペットを亡くされた方
どなたでも
ご参加いただけます

お位牌やご遺骨、
お写真など、思い出の品を
ご持参ください

お申し込み制ですが
当日の急なご参加も
お受けいたします

日 時

令和 8 年 9 月 27 日 (日)
午前 10 時 30 分より

会 場

野田ほたるローズガーデン内
Atelier Clair

費 用

一霊 5,000 円 (事前申し込み制)

内 容

読経と焼香を行い、大切なペット
のご冥福をお祈りします。

申込み

04-7196-6205
(水曜日を除く 9 時～17 時)



今月の位職のこぼ

行住坐臥ぎょうじゅうざが

正恵寺の古墳は西向きなの
分の墓区画で撮影される方。
る方、線香を手向ける方、自
花台に供花を供え、拝礼され
墓の参拝が印象的だった。献
墓参りに来られた。特に古墳
墓の参拝が印象的だった。献
花台に供花を供え、拝礼され
る方、線香を手向ける方、自
分の墓区画で撮影される方。
正恵寺の古墳は西向きなの

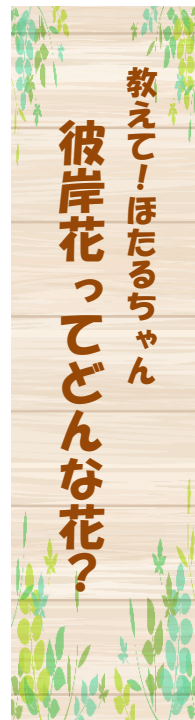
けください。
今季

「彼岸のお参り」
秋のお彼岸は、盆の翌月な
ので、あつという間にくる。春
は牡丹の花から「牡丹餅」を、
秋は萩から「お萩」をお供え
し、お下がりをお願い。仏教
信者で、お彼岸の信仰がある
のは日本のみである。
今年のお盆は多くの方々が
墓参りに来られた。特に古墳
墓の参拝が印象的だった。献
花台に供花を供え、拝礼され
る方、線香を手向ける方、自
分の墓区画で撮影される方。
正恵寺の古墳は西向きなの

9 月のお彼岸の時期になると、
真っ赤な「彼岸花」があぜ道やお墓
の傍らに咲き誇っているのをよく
見かけると思います。少し寂しげ
な印象を持つ方もいるかもしれま
せんが、別名の「曼珠沙華(まんじ
ゆしゃげ)」は、仏教の聖典に登場
する「天から降り注ぐ歓喜の花」の
こと。見る者の心を穏やかにする
とてもおめでたい花なんですよ。
実はこの花、昔から人々の命と
深く結びついていました。球根にあ
る強い毒は、土葬だった時代にご先
人たちの命を救ったとされています。
「食べたら死ぬかもしれない」とい
う覚悟を飲み込んで飢えをしにい
だ先人たちの歴史と、ご先祖さま
を守ってきた深い愛。お彼岸の時期
に咲く鮮やかな赤色は、厳しい時
代を生き抜いて命を繋いでくれた
先人たちへの感謝の色なのですね。

教えて！ほたるちゃん

彼岸花ってどんな花？



霊園で考える 死と生

Team EAST WIND

+

正恵寺・梅村昌寛住職 対談連載

3



写真前列左より、梅村昌寛住職 田中正人さん 鵜野田耀希さん 所幸子さん
武井明日香さん 後列左より、竹内靖恵さん(チームプロデューサー)
弊社代表・矢野友美子

アドベンチャーレースチーム「Team EAST WIND」の皆さんと正恵寺住職の特別対談も、いよいよ最終回を迎えます。今回の話題は「自分らしさ」とは何か、次の世代へ経験をつなぐ新たな取り組み、そして、それぞれが描く「生と死」、「供養のかたち」について。過酷な旅を経たからこそ紡ぎだされる言葉たちをご堪能ください。

聞き手：弊社代表・矢野友美子

自分の強みを生かして
強くなっていきたい

【友美子社長】レースを通して見つけたことや心境の変化、これからどうしていきたいか、などについて聞かせてください。

【鵜野田耀希さん】レースが終わってから思ったことなんですが、強いチームを作って長年キャプテンを務めてきた人が近くにいると、気づいたらその人の真似を無意識にしまっている自分に気づきました。真似をすることは、良いところも悪いところもあると思います。ただレース中に、体力や技術ではなく「性格面」で自分の強さをチームに与えようと考えた時、(田中)正人さんの真似をしても自分の良さは出ないと思ったんです。僕の場合は、人に興味があったり、和を大切にしたりっていうのが強みだと思っているんですが、「そんな甘い考えでは世界一になれへんよ」と言われたりもしました(笑)。でも僕としては、自分が信じる強さを発揮して勝ちたい。「世界で戦ってきた人が言うなら、そうに違いなく」と自分を変えるのではなく、「この人はこのやり方で戦ってきたけれど、僕は僕の強みを出してチームに貢献したい」と思うようになりました。自分らしさを消

さず、チームに良い影響を与えて強くなっていきたいと、めっちゃ強くなりましたね。

【竹内靖恵さん】自分でチームを作って出てみたいという発想もあるの？

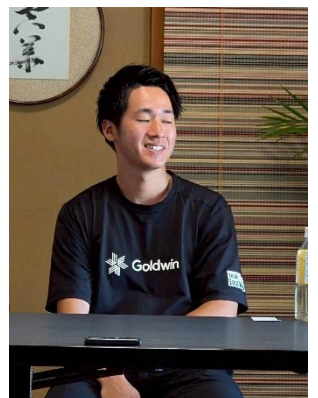
【鵜野田さん】それも思いました。僕がイーストウインドに入った時、唯一の同期がいて。そいつは一年でイーストウインドを辞めて、レースが盛んなニュージーランドに行っただけです。今回、彼はニュージーランドのチームで出てきました。今はなかなか叶わないですけど、一緒にこの世界に入った同期と、「自分の色をもっと出せるチーム」を作ってみた。いなとも思いました。

10代のユースチームを
作りたいです

【所幸子さん】得たものと言えば、レースを通じて自分の弱さと向き合う学びがあったり、自分を強くする機会や振り返る機会を持てたことです。今後もうやってワクワクを追い求めて自分を強くしていきたいですが、同時に自分の強烈な経験や学びを他の人に共有したい欲求がだんだん出てきました。最近は自分でトークイベントを企画したり、講演会でお話をさせていただいたり、発

信の場を増やしています。ただ、これで終わってはいけないう思っています。去年から、長野県安曇野市で一日だけのアドベンチャーレースを開催し、実際に経験できる場を提供したい、それを長く続けていきたいと考えています。

最近、ニュージーランドでは10代のユースチームを輩出しているんです。国際レースは一週間近く続くため、平均年齢が30代後半から40代が中心で、10代、20代には踏み込みにくい業界です。ただ、人生を重ねた私たちでさえこんなに強烈な体験になるのだから、全てがこれからの彼らが経験さらに強い影響力を持つと思うんです。長期的な話にはなりますが、アドベンチャーレースの世界で生きてきた経験を活かしてユースチームを作り、世界を経験して帰ってきた彼らが日本の若い人たちに伝えていく…そういう仕組みづくりをしたいと妄想しています。



遺伝子を超えて、想いと経験を次世代へ

それぞれの「最期」と「生まれ変わり」

【竹内さん】私も60歳近くですが、生きる意味や何を残していくかは、いまだによく分かっていません。若い人たちに経験を残していくことを目標にするのは、非常に良いことだし、面白いと思います。

【所さん】私にとつての「死」との向き合い方もそれに近いですね。私は今38、39歳で「子どもを産むか産まないか」という年齢です。多くのの人にとつて死との向き合い方は「生きた意味を残したい」ということで、一番分かりやすい形が子どもや遺伝子を残すことだと思ひます。自分自身がもし子どもを残さないならば何を残せるかと考えたとき、私が誰かに影響を与えた目に見えないエッセンスが伝播し、それによつて細胞レベルの小さな何かがこの世に残り続ける。それが目に見えなくても、遺伝子を残すことと同じだと思ひていて、それが私にとつて

「何かを残したい」のはエゴなのでしょうか

【友美子社長】実際にお子さんがいらつしやる明日香さんはどうですか？

【武井明日香さん】「何か残したい」と思ひつつ、私にはそこまでの強烈な影響力や手持ちの札がないので、「何か残せるかな」と考えてしまひます。そんな私にアドバイスが欲しいです（笑）。

【梅村住職】価値観ですね。男性と女性で子どもに対する捉え方は違ひます。私にとつて子どもは「責任の継承」ですが、お腹を痛めて産み育てる女性性は違ひます。お子さんにとつてあなたは唯一無二の母であり師匠ですから、充分に生きた証は残つてしまひます。それで良いのではないのでしょうか。

「何か残そう」とするより、それは周りが決めることなんじゃないかなと、私は思ひました。

【友美子社長】明日香さんは、アドベンチャーレースを通して得た何かを残したいということでしょうか？

【武井さん】はい。たくさん学ばせていただいた経験があるので、人が人に伝えるのが苦手です。実は形にしようと思ひて子ども向けの童話を書いてるのですが、途中のストーリー展開に四苦八苦してしまひます。自分のことを残したい気持ちの中に、自分のエゴや欲が入つてちぐはぐになつてしまひます。それでも「うまく整えたい」というこの気持ちは私のエゴなのではないでしょうか？

【梅村住職】以前、お弟子さんの中に「法話が苦手」「伝えることが苦手」という人がいて、紙芝居を作らせてみたんです。そうしたら大に人気になつたんですよ。表現方法は「こうじゃなきゃいけない」ということはいわけて、あえて自分で書いて残すというのは、すごくいいと思ひます。やつてみてください。

【竹内さん】形は何でもいいと思ひます。表現方法も、あなたが得意なもので……つて、聞いていて思ひました。

【友美子社長】では最後に、皆さんはどんな葬儀をあげたいですか？生まれ変わったら何になりたいですか？

【所さん】誰もいない森の中で自然を眺めながら木陰で眠るように死に、そのまま食物連鎖の中に溶け込んでいきたいです。日本だと死体遺棄になつてしまふのでお墓に入ると思ひますが（笑）できるだけ自然に近い場所です。生物の栄養になりたいです。

生まれ変わるなら、幼稚園の頃からの夢だった「鳥」になりたいです。鳥になつたら「次は猫になりたい」などと思ひながら輪廻転生を繰り返したいです。

【鶴野田さん】僕は真逆で、葬式は友達が大に押しかけてほしいです（笑）。悲しまずにワイワイしてほしくて、遺影も笑つてしまふような写真にしたいです。幼い頃に見た祖父の賑やかな葬式に憧れがあるので、たくさんの人に囲まれて死にたいですね。

【田中正人さん】僕は何もありません。死んだら無になるだけなので希望も思想も一切ないです。生まれ変わりたい願望もないし、お墓もいらなかなつて……負の遺産になりそうだし。

チームプロデューサー・竹内靖恵さんに聞く

アドベンチャーレースとは？ Team EAST WIND とは？

今、世界的には男女混成4人1チームで競ひます。競技は混合種目で、アウトドアで動力を使わないもの……マウンテンバイク、トレッキング、ラフティングなど、その国の地形を生かしたものが種目になります。距離は500キロくらい。長いと1000キロまであって、24時間ノンストップ。これをいかに早くゴールできるかというレースです。睡眠時間をどう確保するか、どのルートを通るかという戦略もレースの面白さです。

Team EAST WIND は、1996年にアドベンチャーレースの第一人者である田中正人さんがキャプテンとなり創設したプロチームです。



写真・石川貴大

© EASTWIND / ISHIKAWA

【梅村住職】私たちは霊園経営者とオーナーなんですけどね（笑）。

【田中さん】（笑）すみません（笑）。娘たちには少しお骨を持つてもらいたいですね。

【武井さん】私は家族と親しい友人20人くらいに、大きな声を出さなくても話せる距離感で、楽しかった思い出を共有しながら見送られたいです。生まれ変わったらまた人間になりたいです。

【竹内さん】私も同じです。子どもに先に行かせるわけにはいかないので、子どもに看取られて「お母さんありがとう」と言ってもらいたいです。生まれ変わりは流れにお任せします。

【友美子社長】子どもには自分より一日でも長く生きてほしいです。ご住職はどうでしょうか。

【梅村住職】葬式自体に希望は特にないんですけど、お骨については、関わったお寺全てに分けてほしいなと思ってます。できれば亡くなった後も皆さんと一緒に時間を共有できたらいいなと思っています。

【竹内さん】生まれ変わったら？

【梅村住職】真言宗では「解脱」という考えがあつて、亡くなったら全ての源である「阿（あ）」の世界へ還るため、自分で終わりのない輪廻は「苦（く）」なので、輪廻はしません。

【友美子社長】私のお骨は、今まで旅したところに子どもたちが撒

意味を探さず 今日を粛々と生きる

【友美子社長】生きている実感として、ご住職はどういう時に感じますか？

【梅村住職】ないです。普通に朝起きて水撒きから始まって、草を引いて勤行をやつて、みんなと話をして、信者さんと触れ合つて、やるべきことを淡々とこなして。夕方

の終わりに自分の時間を持つて勉強して、寝る時間や食べる時間を削つて…なんとか毎日を繰り返していきますからね。やるべきことを粛々とやるだけと思っています。

【友美子社長】私たちは「生きていく実感」を求めすぎているんじゃないか。

【梅村住職】もう生きてるから、いいじゃないですか。充分ですよ。食べるものもあるし、寝るところもあるし、やることもいっぱいありますから。

【竹内さん】でも、「生きる意味」を探して旅に出る人もいれば、アドベンチャーレースをやる人もいますよね。なぜでしょうか。

【梅村住職】情報が多すぎるんです。だから他人と比べて、自分が合っているのか間違っているのかと考えてしまうのかもしれないですね。

【竹内さん】他人と比べるのをやめたら、自分のやることを粛々と毎日やっていく中に幸せも見つけられるのでしょうか。レーサーを見ていても思いますが、他人と比べることが一番しんどいことなのかなと感じます。



Team EAST WIND の皆さま
ありがとうございました
末長いご活躍を
職員一同お祈りしております

お参り用供花の販売について

お彼岸の期間中、供花の販売をいたします。お墓参りの際は、ぜひ手ぶらでお越しください。

販売日：9月20日（日）～9月26日（土） 料金：1束700円 販売場所：管理事務所

次回の販売は来春のお彼岸です。それ以外で販売はいたしませんので、お気を付けください。



正恵寺では *ご葬儀*ご法事*各種ご祈祷
*ペット供養*本堂・お茶室のレンタルスペース
*改葬相談*終活相談*人形・仏具供養を受け付けております。お気軽にご相談ください。

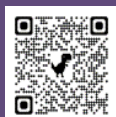
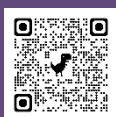
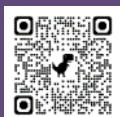
正恵寺・野田ほたるローズガーデン
住所：千葉県野田市船形 620
電話番号：04-7196-6205



ホームページ

Instagram

X



季節のまにまに

【9月のことば】待宵（まつよい）

十五夜（満月）の前夜のこと。「明日は綺麗なお月さまが見られるかな」と、胸を躍らせながら月を待つ静かな夜を表す言葉です。

【からだを労わる】

この時期は朝晩の寒暖差で自律神経が乱れて眠りが浅くなりがち。今月のご自愛は、つま先立ちをして「かかとをトントン」と軽く床に落とすこと。かかとへの心地よい衝撃は、骨を丈夫（骨粗鬆症予防）にするだけでなく、自律神経を刺激して、夜の睡眠の質を劇的に高めてくれます。秋の夜長、月を待ちながら足元から身体を優しく整えましょう。

